

令和9年度 仙台赤十字病院 臨床研修プログラム



人道博愛に基づいて医療を行い、
全ての人の尊厳をまもる



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

〒982-8501

仙台市太白区八木山本町2丁目43-3

TEL:022-243-1111

FAX:022-243-1101

HP:<http://www.sendai.jrc.or.jp>

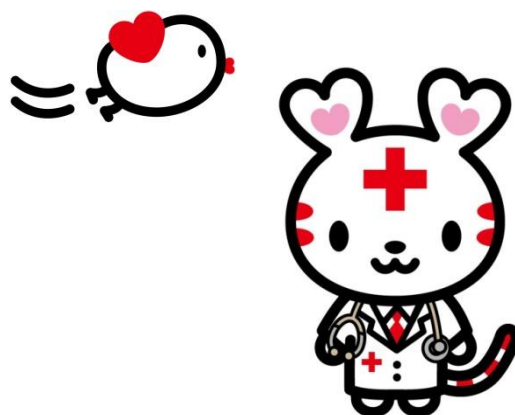
仙台赤十字病院臨床研修管理委員会



<http://www.sendai.jrc.or.jp>
<http://www.sendai.jrc.or.jp>

【臨床研修の理念】

医師たる者は、高潔な人格を備え、医師に対する社会の要求と期待を十分に認識し、専門性にかかわりなく、日常的疾患・病態に適切に対応できる、プライマリーケアの能力(態度・技能・知識)を持たなければならない。臨床研修を通じて、新医師を、このような歪のない医師に育成する。



【仙台赤十字病院の概要】

1. 名称・所在地

名称: 仙台赤十字病院

所在地: 宮城県仙台市太白区八木山本町2丁目43-3

開設年月日: 大正13年10月18日

病院長: 八重樫 伸生

2. 病院の沿革・基本理念と基本方針

【病院の沿革】

大正13年10月18日

日本赤十字社宮城県支部診療所として発足

昭和15年1月1日

日本赤十字社宮城診療院と改称

昭和18年1月1日

仙台赤十字病院と改称

令和7年

許可病床数 350床



【基本理念】

人道博愛に基づいて医療を行い、全ての人の尊厳をまもる。

【基本方針】

1. 総合的な診療、特殊性のある診療、災害救護活動等を通じて地域に貢献します。
2. 患者さんの諸権利を尊重し、的確な説明の後に同意を頂いて診療します。
3. 根拠に基づいた医療を、正確、誠実に行います。
4. 日々研鑽を積み、高度な専門知識と確実な医療技術を身につけます。
5. 患者さんはじめ地域の皆様方のご意見を尊重して、病院の改善に努めます。
6. 全職員が協力して、安全な管理と健全な運営を目指し、働きがいのある病院にします。

3. 診療科目・病床数

【診療科】

呼吸器内科 循環器内科 腎臓内科
消化器内科 総合診療科 糖尿病代謝科
小児科 小児外科 新生児科
外科 産科・婦人科 整形外科 皮膚科
泌尿器科 耳鼻咽喉科 麻酔科 精神科
歯科口腔外科 放射線科 病理診断科



【センター】

総合周産期母子医療センター 健診センター
腎センター(透析室)

【許可病床数】

350床



4. 認定の施設

当院では、専門教育のための施設として下記の認定を受けています。

令和8年4月1日 現在

1. 日本内科学会認定医制度教育関連病院
2. 日本呼吸器学会認定施設
3. 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医制度認定施設
4. 日本消化器病学会専門医認定施設
5. 日本消化器内視鏡学会指導施設
6. 日本消化器外科学会専門医修練施設
7. 日本消化器がん検診学会認定指導施設
8. 日本肝臓学会特別連携施設
9. 日本透析医学会教育関連施設
10. 日本腎臓学会認定教育施設
11. 日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設
12. 日本外科学会専門医制度修練施設
13. 日本炎症性腸疾患学会指導施設
14. 日本産科婦人科学会専門研修連携施設
15. 日本周産期・新生児医学会周産期専門医(母体・胎児)基幹認定施設
16. 日本周産期・新生児医学会周産期専門医(新生児)基幹認定施設
17. 日本生殖医学会生殖医療専門医制度研修連携施設
18. 日本整形外科学会専門医研修施設
19. 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
20. 日本泌尿器科学会専門医関連教育施設
21. 日本小児科学会小児科専門医研修施設
22. 日本皮膚科学会認定専門医研修施設
23. 日本乳癌学会専門医制度関連施設
24. 日本臨床細胞学会認定施設
25. 日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設
26. 日本臨床栄養代謝学会NST稼働施設
27. 日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修連携施設
28. 日本がん治療認定医機構認定研修施設
29. 日本口腔外科学会専門医制度准研修施設
30. 宮城県医師会母体保護法設備指定医療施設
31. 宮城県医師会母体保護法指定医師研修機関
32. 宮城県総合周産期母子医療センター指定病院
33. 日本医療機能評価機構認定病院 3rdG:Ver.2.0
34. 東北大学病院地域医療連携施設
35. 厚生労働省臨床研修病院指定



最新のMRI診断装置と、最新鋭のRI診断装置も設備されています。

I 研修プログラムの特徴および目標

《特徴》



基幹型臨床研修病院としての研修を行う。プライマリーケアに対応するために、プログラムは経験目標に定められた必要項目を2年間に確実に達成できるような内容にした。自由選択期間を活用し、自主性のある研修を行えるプログラムとなっている。

《研修理念の具現のための到達目標》

高潔な人格を備え、医師に対する社会の要求とを十分に認識し、専門性にかかわりなく、日常的疾患・病態に対応する、いわゆるプライマリーケアの能力(態度・技能・知識)を持つ医師になる。

《行動目標の概略》

★本院医師として、必要な各種取り決めを知るとともに、各種オーダー方法や各診療科支援組織の利用等、基本的病院機能利用法を修得する。

★受け持ち医として、指導医の下に診療を行う。

★一定期間の研修後から、副当直医として救急医療に必要な諸検査の実施法を学びながら救急患者への対応能力を修得する。

★救急医療は、仙台医療センター、仙台市立病院、石巻赤十字病院、秋田赤十字病院のいずれかの施設にて4週の研修を行う。

★各診療科の研修にあたっては、将来、選択した専門性に関わらず、一般的一次救急患者に対応可能にし、かつ、その診察後に、必要に応じて各領域の専門医に、患者を的確に紹介できる能力を修得する。

★研修2年目の自由選択研修期間を有効に活用して、自主性のある研修を行う。

Ⅱ 研修計画

ローテーション【例】

1年目

4週	24週	4週	4週	4週	4週	8週
オリエンテーション 仙台赤十字病院	内科 仙台赤十字病院	外科 仙台赤十字病院	小児科 仙台赤十字病院	産婦人科 仙台赤十字病院	麻酔科 仙台赤十字病院	選択科目 仙台赤十字病院

2年目

4週	4週	4週	40週
地域医療 清水赤十字病院	救急 4施設の中から 選択必修	精神科 宮城県立 精神医療センター	選択科目、保健・医療行政 仙台赤十字病院または関連施設

☆臨床研修分野として、内科（総合内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・腎臓内科・糖尿病代謝科）（24週以上）、外科（4週以上）、小児科（4週以上）、産婦人科（4週以上）、麻酔科（4週以上）地域医療（4週以上）、救急（12週以上）、精神科（4週以上）、一般外来（4週以上）が必修である。

☆地域医療は、清水赤十字病院での研修（4週）を必修とし、大波医院、くまがいクリニック内科・消化器科、森元クリニック内科・消化器科は選択とする。

☆救急部門の12週のうち4週は、仙台医療センター、仙台市立病院、石巻赤十字病院、秋田赤十字病院のいずれかの施設にて連続して研修を実施し、4週は麻酔科、残り4週については当院の2年間に実施する宿直研修を4週分として充当する。

☆沖縄県立南部医療センター・こども医療センターの救急の研修は選択とする。

☆東北大学病院の研修（循環器内科、腎臓・高血圧内科、血液内科、リウマチ膠原病内科、糖尿病代謝・内分泌内科、消化器内科、腫瘍内科、心臓血管外科、緩和医療科、脳神経内科、リハビリテーション科、放射線治療科、放射線診断科、救急科（8週）、産婦人科、眼科）は選択とする。

☆宮城県立がんセンターの研修（血液内科、呼吸器内科、頭頸部内科、腫瘍循環器科、腫瘍内科、緩和ケア内科、精神腫瘍科、放射線診断科、放射線治療科、消化器外科、形成外科、泌尿器科、脳神経外科、整形外科、頭頸部外科、呼吸器外科）は選択とする。

☆選択科目については、内科・外科・整形外科・小児科・産婦人科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・皮膚科・麻酔科・救急を研修する。なお、到達目標に未達成がある場合は、到達目標達成のために必要な診療科を割り当てることがある。

☆当院は高齢者医療への対応を目的として整形外科の選択をおすすめしている。

☆保健・医療行政は、仙台市太白区保健福祉センター、宮城県赤十字血液センター、健診センターで研修を行う。

☆研修協力施設での研修は最大12週とする。

☆CPCは仙台赤十字病院で実施する。

Ⅲ 研修責任者・臨床研修管理委員会

研修責任者	院長	八重樫 伸 生
【臨床研修管理委員会構成員】		
委員長	院長	八重樫 伸 生
副委員長	副院長・呼吸器内科部長	三 木 誠
委員	産婦人科主任部長	鈴 木 久 也
委員	消化器内科部長	大 楽 尚 弘
委員	外科部長	岡 田 恭 穂
委員	小児科副部長	田 澤 星 一
委員	事務部長	菅 野 雅 博
委員	看護副部長	松 本 亜 矢
委員(外部委員)	宮城県立精神医療センター院長	角 藤 芳 久
委員(外部委員)	仙台医療センター臨床研修部長	鈴 木 靖 士
委員(外部委員)	仙台市立病院 医療管理監	八 木 哲 夫
委員(外部委員)	石巻赤十字病院 院長	石 橋 悟
委員(外部委員)	秋田赤十字病院 院長	河 合 秀 樹
委員(外部委員)	清水赤十字病院 院長	藤 城 貴 教
委員(外部委員)	東北大学病院卒後研修センター長	宮 下 穰
委員(外部委員)	仙台市太白区保健福祉センター所長	加 藤 正 典
委員(外部委員)	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 救急科副部長兼研修センター長	富 山 修 志
委員(外部委員)	宮城県赤十字血液センター所長	鈴 木 聡
委員(外部委員)	泉が丘クリニック 院長	山 口 裕 二
幹事	臨床研修室員	相 澤 三 枝 子

※臨床研修管理委員会の役割

研修プログラムの作成、研修プログラム相互間の調整、研修医の管理および研修医の採用・中断・終了の際の評価など、臨床研修の実地の総括管理を行う。

IV 指導体制

研修する診療科の指導医を主体とし、病院全体で研修医の研修を支援する。指導医は、各診療科等の研修修了ごとに研修状況をチェックする。また、指導医は、臨床経験7年以上の医師および指導医養成講習会の受講済の医師を主に配置している。

<指導医>

消化器内科	大 楽 尚 弘	消化器内科部長
呼吸器内科・プログラム責任者	三 木 誠	副院長・呼吸器内科部長
循環器内科	高 橋 徹	循環器内科部長
腎臓内科	杉 本 理 絵	腎臓内科部長
総合診療科・救急	松 原 光 伸	総合内科医師
糖尿病代謝科	関 川 明 宏	糖尿病代謝科部長
外科	岡 田 恭 穂	外科部長
産婦人科	鈴 木 久 也	産婦人科主任部長
小児内科	田 澤 星 一	小児科副部長
整形外科	山 田 則 一	副院長・整形外科部長
皮膚科	田 畑 伸 子	皮膚科部長
泌尿器科	青 木 大 志	泌尿器科部長
耳鼻咽喉科	須納瀬 知 輝	耳鼻咽喉科副部長
麻酔科	佐々木 規 喜	麻酔科主任部長
精神科(協力型病院)	角 藤 芳 久	宮城県立精神医療センター院長
救急(協力型病院)	鈴 木 靖 士	仙台医療センター臨床研修部長
救急(協力型病院)	八 木 哲 夫	仙台市立病院医療管理監
救急(協力型病院)	石 橋 悟	石巻赤十字病院院長
救急(協力型病院)	河 合 秀 樹	秋田赤十字病院院長
救急(協力型病院)	富 山 修 志	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 救急科副部長兼研修センター長
地域医療(協力型病院)	藤 城 貴 教	清水赤十字病院院長
地域医療(協力型病院)	宮 下 穰	東北大学病院卒後研修センター長
地域医療(協力型病院)	佐々木 治	宮城県立がんセンター院長
保健・医療行政	加 藤 正 典	仙台市太白区保健福祉センター所長
保健・医療行政	鈴 木 聡	宮城県赤十字血液センター所長
保健・医療行政	杉 村 彰 彦	健診センター長・循環器内科医師
地域医療	大 波 勇 一	大波医院院長
地域医療	熊 谷 裕 司	くまがいクリニック内科・消化器科院長
地域医療	森 元 富 造	森元クリニック内科胃腸科院長

V 研修の記録・評価方法

研修医は、オンライン臨床教育評価システム(EPOC2)へ経験症候疾患の登録とその他研修活動の記録、自己評価を都度入力する。

VI 協力病院・協力施設

1. 精神科(協力型病院) ※必修

『宮城県立精神医療センター』

★精神科の研修を2年の間に1ヶ月行う。

2. 救急医療(協力型病院) ※選択必修(4施設の中から1施設選択)

『仙台医療センター』

『仙台市立病院』

『石巻赤十字病院』

『秋田赤十字病院』

★救急医療の研修を2年の間に1ヶ月行う。

3. 地域医療(協力型病院) ※必修

『清水赤十字病院(北海道)』

★地域医療の研修を2年の間に1ヶ月行う。



4. 救急医療(協力型病院)

『沖縄県立南部医療センター・こども医療センター』

★救急医療の研修を選択で行うことができる。

5. 地域医療(協力型病院)

『東北大学病院』

★循環器内科、腎臓・高血圧内科、血液内科、
リウマチ膠原病内科、糖尿病代謝・内分泌内科、
消化器内科、腫瘍内科、心臓血管外科、
緩和医療科、脳神経内科、リハビリテーション科、
放射線治療科、放射線診断科、救急科、産婦人科、
眼科の研修を選択で行うことができる。



6. 地域医療(協力型病院)

『宮城県立がんセンター』

- ★血液内科、呼吸器内科、頭頸部内科、腫瘍循環器科、腫瘍内科、緩和ケア内科、精神腫瘍科、放射線診断科、放射線治療科、消化器外科、形成外科、泌尿器科、脳神経外科、整形外科、頭頸部外科、呼吸器外科の研修を選択で行うことができる。



7. 保健・医療行政(協力施設)＜保健所＞ ※必修

『仙台市太白区保健福祉センター』

- ★本院から約5kmの距離にあり、1週間出向し、保健所業務を体験できる。



8. 地域医療(協力施設)＜診療所＞

『大波医院』

『くまがいクリニック内科・消化器科』

『森元クリニック内科胃腸科』

- ★これらの診療所に、約3日間(各1日)出向し、院長とともに日々の診療に従事し、診療所の医療を選択で体験することができる。

9. 保健・医療行政(協力施設)＜献血業務＞

『宮城県赤十字血液センター』

- ★2日間、献血業務を選択で体験する。

10. 保健・医療行政(本院)＜健診業務＞

『仙台赤十字病院 健診センター』

- ★健診の業務を選択で2日間体験できる。



VII 研修医の身分・処遇

(1)採用時期

令和9年4月1日

(2)勤務条件

月曜日～金曜日 8:30～17:00

週休2日制(他当院就業規則に定める休日有)

宿直(日直含む) 月2～4回程度



(3)待遇条件

身分:常勤嘱託職員

給与:医師免許取得後1年次 約477,000円(令和7年度実績)

医師免許取得後2年次 約492,000円(令和7年度実績)

(上記の金額は、医師確保手当・借家手当を含んだ額です。上記とは別に

賞与:1年次 年額(税込)約640,000円 2年次 年額(税込)945,000円

(前年度実績)等が当院給与規定に基づき支給されます。

社会保険:健康保険・厚生年金・労災保険・雇用保険は加入するものとし、
保険料の負担は法定どおりとする。

医師賠償責任保険:病院自体の加入は有。個人は任意。

学会出張:当院規定に基づき支給する。

研修医宿舍:なし(借家手当を支給する)

健康診断:年2回職員健診を実施

研修期間中のアルバイトは認めません。



Ⅷ 研修医募集について

定員

1年次	6名
2年次	6名
合 計	12名



医師臨床研修マッチング協議会のマッチングプログラムに参加しています。

応募される方は、事前に一度見学にお越しください。

採用試験は7月～9月の当院が指定する日程で実施する予定です。

詳細はホームページに掲載いたします。

《出願書類》

1. 臨床研修申込書(指定書式)
2. 履歴書(指定書式)
3. 卒業(見込み)証明書

《選考方法》

1. 作文
2. 面接

《申込締切》

ホームページより申込み後、試験日の1週間前までに応募書類必着

《出願書類提出先》

《病院見学・応募、その他研修に関する問い合わせ》

〒982-8501

宮城県仙台市太白区八木山本町2丁目43-3

仙台赤十字病院 臨床研修室 相澤

TEL:022-243-1111(内線1201)

FAX:022-243-1101

MAIL:mieko.aizazwa@sendai.jrc.or.jp



MEMO

A large rectangular area defined by a dashed black border, intended for writing a memo. The border is composed of small black squares spaced evenly to form a continuous line. The interior of the rectangle is white, providing a space for text.